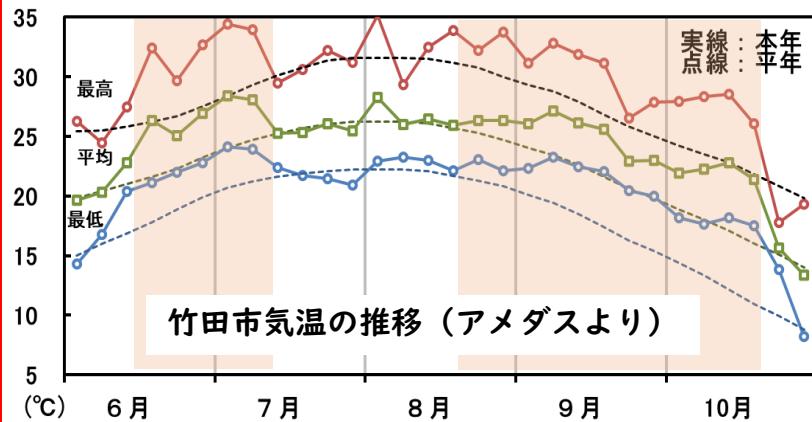


今年も<高温>が続きました！

- 特に6月中旬～7月上旬
8月下旬～10月中旬は、
平年より高く推移
しました。



影響① <白未熟粒>の発生

- 竹田市内でも標高の低い地域等
を中心に、ヒノヒカリなどで
多く発生がみられました！

【対策】

- 適切な中干しや間断灌水による
穂数の適正化や根の活力向上
- 高温耐性品種（なつほのかなど）の導入

品種ごとの白未熟粒
の発生比較



←ヒノヒカリ
←なつほのか



影響② <紋枯病>の発生

- 高温・多湿で多発する特徴があり、
今年も一部圃場で発生しました



↑紋枯病の症状

【対策】

- 紋枯病に効果的な苗箱施薬を使用する
<例>スクラム箱粒剤
- 幼穂形成期～穂ばらみ期にかけての本田防除

より詳しい令和7年度産水稻の反省は水稻勉強会で！

- 1月22日(木) 17:30から、豊肥振興局・大会議室で行います。
- 参加の申し込みは豊肥振興局 集水二班(63-1301)までご連絡下さい！



豊肥振興局HP
からカラーで見
れます！

大分県農業協同組合豊肥営農経済センター 営農部 農産課 63-4994
大分県豊肥振興局生産流通部 集落営農・水田畠地化第二班 63-1301